

平成23年度 決算説明書／事務事業評価シート

前年度課室名	環境衛生課
課名	環境衛生課

予算	款	項	目	決算書
	4	2	2	132 頁

目名
塵芥処理費

事務事業名称
塵芥処理事業

1. 概要

目的	循環型社会の形成	対象	市民
事業概要	<p>○不法投棄防止対策事業 …… 不法投棄防止看板購入</p> <p>○循環型社会形成事業 ①生ごみ処理容器(コンポスター)給付事業 90基給付 ②電気式生ごみ処理機設置補助事業 5基補助(90,000円補助)</p> <p>○塵芥処理事務費</p>		

臨/経	事業名	事業内容(主な経費等)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
					国・県支出金	市債	その他	一般	
臨時	不法投棄防止対策事業	不法投棄防止看板購入 需用費	299	258	129			129	3
経常	循環型社会形成事業	①90基 ②5基 需用費	1,095	585			225	360	3
経常	塵芥処理事務費	水質検査等 委託料	2,418	2,134				2,134	3
廃止									
臨時	旧西部清掃センター埋設物処理事業								
計			3,812	2,977	129	0	225	2,623	

2. 指標設定

成果指標	指標名	循環型社会の形成		目標年度	指標の設定理由			
	数値	—			里山・田園・水辺を守り育て、ごみを削減するため			
活動指標	指標	a	看板設置数	b	補助実施数	c		d
	数値	目標	随時	目標	120件	目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
循環型社会の形成		—	—	—

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a 看板設置数	ヶ所	30 ヶ所	27 ヶ所	22 ヶ所
		—	—	—
b 補助実施数	件	100 件	84 件	95 件
		83.3 %	70.0 %	79.2 %
c				
d				

4. 課題と対応

課題
ごみの不法投棄が多く発生している。また、ごみの減量化等を図る必要がある。
対応（改善点等）
不法投棄に対しては広報、啓発活動を行い、家庭ごみの減量化を図る

5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

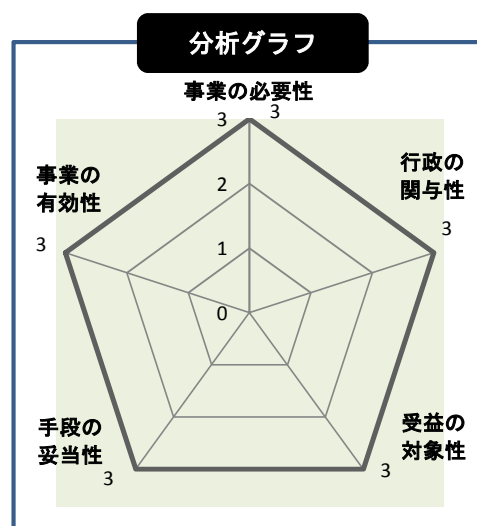
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
		53,886	353,235	2,977	2,816
うち経常経費		1,096	2,966	1,879	2,557
財源内訳	国費	20,200	85,966		
	県費	112	47	129	129
	市債				
	その他	222	185	225	225
	一般財源	33,352	267,037	2,623	2,462
うち経常		762	2,734	1,654	2,332
事業費に係る人件費		427	3,942	430	429

6. H25年度予算の方向性

方向性
減額
理由
旧西部の水質検査が必要なくなるため

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 事業の必要性が高い
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により、市が実施主体であることが定められている
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 広く市民に享受できている
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のために適切な手段である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 期待したとおりの成果が上がっている



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
縮小	引き続き、環境保全に資するため、効果的、効率的な事業実施に努めること。